

### 執筆者一覧（掲載順）

三本松 政之	コミュニティ福祉学会運営委員長／コミュニティ福祉学部学部長
鈴木 良	琉球大学法文学部人間学科准教授
浅井 春夫	福祉学科教授
内山 涼	福祉学科 2015 年卒業
嘉瀬 貴祥	コミュニティ福祉学研究科博士課程後期課程在学中
小松 陽香	コミュニティ福祉学研究科博士課程前期課程在学中
木村 駿介	コミュニティ福祉学研究科博士課程後期課程在学中
大石 和男	スポーツウエルネス学科教授
李 欣晏	福祉学科 2016 年留学生／天主教輔仁大学日本語文学学科
岡 桃子	福祉学科助教
木下 武徳	コミュニティ政策学科教授
富田 文子	福祉学科助教
木下 一雄	名寄市立大学助教／コミュニティ福祉学科 2004 年卒業
結城 俊哉	福祉学科教授
佐藤 太	フリーランス通訳、翻訳、英語講師
Ritchie, Zane	コミュニティ政策学科助教
宮崎 晴子	コミュニティ政策学科在学中
空閑 厚樹	コミュニティ政策学科教授
藤井 満里子	インターンシップ・キャリア支援室教育研究コーディネーター
北島 健一	コミュニティ政策学科教授
佐野 信子	スポーツウエルネス学科准教授
佐藤 めぐみ	福祉学科 2012 年卒業
今井 彩貴	コミュニティ政策学科在学中
江花 松樹	コミュニティ政策学科在学中
麻野 美和	福祉学科 2015 年卒業
岩田 真由美	結城市役所子ども福祉課／コミュニティ福祉学科 2002 年卒業
林 和秀	コミュニティ福祉学研究科博士課程前期課程在学中
足立 詠子	コミュニティ福祉学科 2008 年卒業

---

### 立教大学コミュニティ福祉学会

編集委員会 木下 武徳（編集長） 浅井 春夫（副編集長） 大石 和男（副編集長）  
大川 真央 菅原 愛和 麻野 美和

事務局 結城 俊哉（事務局長） 小林 裕子（事務局）

## ■編集後記■

●「新任教職員の研究紹介」で書かせていただいているように、『まなびあい』に参加するのは初めてなのですが、「編集長」の大役を拝命いたしました。昨年度に続いて、多くの方の執筆投稿をいただいて、内容はとても充実しております。また、英語での投稿もありました。スーパーグローバル大学に認定された立教大学だからこそだと思います。投稿者の皆様には感謝申し上げます。

(編集長 木下 武徳)

●皆様のご協力で『まなびあい』第9号が完成しました。今回も力作揃いで大変うれしく思います。私事ですが昨年の暮れから入退院を繰り返し、関係者の皆様には多大なご迷惑をおかけしております。ただ、私にとつて病気は単なる災いではなく、コミュニティ福祉学の重要性やそこに内包される優しさを再認識するなどの収穫もありました。生活に多少の制限はありますが、お蔭様で以前より豊かさを実感することの多い日々を送っています。

(副編集長 大石 和男)

●『まなびあい』も第9号目となりました。年々厚みが増し、また内容もますますバラエティに富んでいます。日々自身の実践に追われている中で、『まなびあい』に関わらせてもらうことで、毎年多くの刺激をもらっています。コミ福につながるみなさんにとっても、『まなびあい』がそのような存在になってもらえたたらと思います。

(編集委員 大川 真央)

●今回、初めての編集委員を務めさせていただきました。『まなびあい』は、今年も、コミ福で学ぶ学生の皆様、また、コミ福での学びを経てそれぞれの道を歩まれる皆様にとって、興味深く、良い刺激となるであろう論文やエッセイをたくさん寄せさせていただくことが出来ました。学生から社会人となり、キャリアを積んでいくその過程で、読み返す毎に糧となっていく『まなびあい』に携わらせていただけたことに心より感謝申し上げます。

(編集委員 菅原 愛和)

●「書く作業は、0から1を生み出す作業ではなく、1000を10にしていく作業」という言葉を、できあがった冊子を見て思い浮かべました。今年度からなった編集委員です。初めて関わる出版作業。初稿、再行、念校、納品と幾つのプロセスを経て、執筆者の想いと努力が一冊の本になるのを目にして、感慨深い気持ちです。そう思うと、200ページ以上の重みも大したことがなくなる気もしますが…。昨年度から、web上からも閲覧できるようになりました。ぜひどちらもご活用頂き多くの方に読んで頂ければ思います(立教大学学術リポジトリ)。

(編集委員 麻野 美和)

## 立教大学コミュニティ福祉学会『まなびあい』第9号

2016年11月10日発行

発行者 三本松 政之

編集者 木下 武徳

発行所 立教大学コミュニティ福祉学会運営委員会事務局

〒352-8558 埼玉県新座市北野1-2-26

TEL. 048-471-7308

印刷所 東銀座印刷出版株式会社